関係者各位

アフリカ連合日本政府代表部
経済・開発協力班

当代表部ではアフリカ各国に関連するビジネスニュースに加え、民間セクター・関係機関に有益と思われるトピックを中心に毎月配信しております。ビジネストレンド、経済動向、投資環境や法規制など、アフリカでビジネスを展開中、あるいは進出を検討している方々にとってお役に立てればと思っております。また同時当代表部ではウェブサイトに加えて、X(旧twitter)のアカウントも以下の通りございますので拡散・フォローいただけますと幸いです。

8月20日から22日にて横浜で開催された TICAD9において、政府間の対話のみならず民間部門においても活発な経済交流や、各国政府や現地企業との合意形成が図れたことに心から御礼申し上げます。日本として取り組んだ内容を以下のリンクにてまとめておりますので、内容ご確認いただけると幸いです。

https://www.mofa.go.jp/mofaj/af/af1/pagew_000001_00002.html

当代表部ウェブサイト: https://www.au-mission.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

同 Xアカウント: https://x.com/mission_japan

大使 Xアカウント: <https://x.com/AmbJapantoAU>

配信内容へのご意見或いは新規登録希望の方は以下のアドレスに
組織名、氏名、役職をご記入の上お願いします。

keizaikaihatsu@ua.mofa.go.jp

■東部アフリカ

(1)【エチオピア】中古ガソリン車価格が過去最高を記録、一方でEV価格は横ばい

新車のガソリン車輸入は2025年初めに完全廃止され、ガソリンへの補助金打ち切りなど保有コスト増に歯止めがかからない。今後も政府はCO2排出基準を満たさない老朽中古車両を国内市場から排除する策を検討しており、EV時代の幕開けに向けて取組を進めている。しかし市場では中古ガソリン車価格が値上がりするというねじれ現象が起きており、資産価値のあるものとして認識されている。

<https://birrmetrics.com/ethiopias-old-cars-are-pricier-than-ever-while-evs-slide/>

(2)【ケニア】80MW地熱発電所の新規建設を承認

政府はオルカリア VII 地熱発電所の建設を承認し、これにより国家送電網に80メガワット(MW)の追加供給が可能になる。発電所は19本の生産井を活用する見込みで、同発電所は数十億シリング規模(数十億円)のこのプロジェクトは、ケニア政府と日本政府、欧州投資銀行(EIB)の共同事業であり、2027年までの完成が予定されている。

<https://www.standardmedia.co.ke/business/business/article/2001526150/cabinet-gives-nod-for-80mw-geothermal-power-plant>

(3)【タンザニア】主要事業分野で外国人参入を禁止

タンザニアは経済の主要分野における外資参入を規制しており、新たな指令により草の根経済の活性化に不可欠とされる15の事業分野への参入が禁止された。これには美容院、小規模小売店、飲食店、モバイルマネーキオスクの運営などが含まれる。違反者には、最大1000万タンザニア・シリング(約3,900米ドル)の罰金または最長6ヶ月の禁固刑といった厳しい罰則が科される。外国人は居住許可証やビザを剥奪される可能性もある。

<https://www.africanews.com/2025/07/31/tanzania-bans-for-non-citizens-from-running-small-businesses/>

(4)【ルワンダ】蜂蜜輸出で数十億フラン(数億円)の収益を目指す

蜂蜜輸出企業 M&M Sozo Ltd のグレース・ムババジ代表取締役は、国外の市場開拓に照準を定めている。同社の年間蜂蜜輸出量は現在 90~120 トンで現在は中国、ドバイ、欧州を主な需要先としており、生産量の拡大に注力している。平均価格は 1KG あたり 10~12 米ドルである。

<https://www.newtimes.co.rw/article/29060/news/rwanda/rwanda-eyes-billions-of-francs-in-honey-exports>

(5)【ウガンダ】年間コーヒー収益がほぼ倍増

ウガンダのコーヒー輸出収益は今年6月までの1年間で22.2億米ドルとほぼ倍増。主要生産国であるブラジルとベトナムが干ばつによる低収穫量に見舞われたことにより、コーヒー価格が過去最高を記録したことが主な要因。好天と業界への多額の投資が追い風となり、ウガンダは大手コーヒー輸出国となった。

<https://www.semafor.com/article/08/04/2025/ugandas-yearly-coffee-earnings-almost-double>

■西部アフリカ

(6)【セネガル】小麦輸入削減に向け国家戦略を策定

セネガルは小麦に関する包括的な国家戦略を策定中であり、輸入依存度の低下と持続可能な国内サプライチェーンの確立を目指す。この取り組みは、小麦を周辺作物から主要な農業基盤へと転換することを目的としている。

<https://ukragroconsult.com/en/news/senegal-develops-national-wheat-strategy-to-reduce-imports/>

(7)【ギニア】探鉱許認可の不透明感に直面

アロー・ミネラルズ社は、ギニアにおける探鉱許可の取り消し可能性を示唆する報道を受け、株式取引停止と自主的な上場停止を申請した。ナイアガラ・ボーキサイト鉱山およびシマンドゥ北鉄鉱石プロジェクトの許可状況について、ギニア当局と積極的に協議中である。

<https://www.tipranks.com/news/company-announcements/arrow-minerals-faces-uncertainty-over-guinea-exploration-permits-2>

(8)【ナイジェリア】コカ・コーラ、アフリカ事業縮小と成長投資を両立

米コカ・コーラ社は2020年以降、アフリカ全域での事業規模を縮小している。ボトリングと流通業務を外部委託することで身軽なビジネスモデルへ移行しており、同社がナイジェリアの乳製品・ジュース・スナック子会社チビタ・ホランディア(CHI)をナイジェリアのUACに売却した背景には、こうした戦略がある。

<https://www.theafricareport.com/389391/coca-cola-slims-down-assets-in-africa-invests-to-boost-growth/>

(9)【ナイジェリア】ナイジェリア・モロッコ間ガスパイプラインが建設段階へ

総額250億米ドルのナイジェリア・モロッコ間ガスパイプライン(NMGP)プロジェクトが建設開始に近づいている。6千kmに及ぶこのインフラ計画はアフリカ大西洋ガスパイプライン(AAGP)としても知られ、モロッコ国営炭化水素鉱物庁(ONHYM)とナイジェリア国営石油会社(NNPCL)が主導している。大西洋に面するアフリカ諸国間の協力強化を目指すモロッコの広範な「大西洋イニシアチブ」の一環である。

<https://www.intellinews.com/nigeria-morocco-gas-pipeline-project-advances-towards-construction-phase-394900/?source=morocco>

(10)【コートジボワール】エジプト・UAE 合弁企業がコートジボワール太陽光事業で落札

エジプトのインフィニティ社とUAE マスダール社による合弁企業インフィニティ・パワーは、コートジボワールで2つの太陽光発電プロジェクトを落札した。同社は合計80MWの太陽光プロジェクトに対し、0.03310ユーロ(0.039ドル)/kWhと0.03213ユーロ/kWhの落札価格を提示。これは西・中央アフリカにおける独立系発電事業者(IPP)における最低料金となる。同社地上設置型太陽光発電所2基の設計・資金調達・建設・運営を担う。

<https://www.pv-magazine.com/2025/08/11/egypt-uae-joint-venture-wins-ivory-coast-solar-tender-at-e0-0310-kwh/>

■南部アフリカ

(11)【南アフリカ】マヒンドラ、ダーバンにピックアップトラック組立工場を開設

マヒンドラ SA はクワズール・ナタール州ダーバン市のドウベ貿易港特別経済区にピックアップトラックの半完成車(SKD)組立工場を開設した。同工場は2018年に開設されたマヒンドラの既存組立工場に隣接し、生産能力は月あたり約1,000台となっている。尚、同市には南ア・トヨタも工場を構え、ピックアップトラックの生産を行っている。

<https://www.businesslive.co.za/bd/companies/2025-08-12-mahindra-opens-bakkie-factory-in-durban/>

(12)【南アフリカ】MTN グループ、2025年上半期に黒字転換、業績予想を上方修正

アフリカ最大の通信事業者 MTN グループはマクロ経済環境、インフレ及び為替レートの安定性向上が寄与し、上半期に黒字転換したと発表した。南アフリカに本社を置くMTNは、2025年6月までに1株当たり見出し利益が 6.45ランド(前年同期は2.56ランドの損失)だったと報告した。利払い前、税引き前、減価償却前利益(EBITDA)マージンは7.1ポイント拡大し44.2%に達し、為替変動の影響を除いた EBITDA は42.3%増の467億ランド(26.5億米ドル)となった。

<https://www.msn.com/en-us/money/markets/south-africas-mtn-swings-to-first-half-profit-raises-guidance/ar-AA1KIhMg?ocid=BingNewsVerp>

(13)【ジンバブエ】中国のニッケル大手、ジンバブエに8億米ドル投資へ

中国ニッケル生産大手・青山ホールディンググループは、子会社のディンソン鉄鋼会社を通じて、ジンバブエ中部の製鉄所拡張に8億米ドルを投資する。ロイター通信によると、世界有数のニッケル生産企業である青山は、フェロクロム、コークス用炭、リチウム事業で既にジンバブエに強固な基盤を築いている。ウィルフレッド・モツイプロジェクトディレクターは、今回の新規投資により高炉、製鋼、圧延、製鋼プラントの建設および関連インフラが整備されると述べた。<https://bulawayo24.com/index-id-news-sc-national-byo-256506.html>

(14)【マラウイ】ショップライト、マラウイから撤退へ

アフリカ最大の食品小売業者であるショップライトは、同国への参入から25年を経て、マラウイでの事業を国内企業に売却する方針を明らかにした。マラウイの独占禁止機関である競争公正取引委員会は金曜日の公示で、カーソン・インベストメント・トラストから、同国におけるショップライト資産の買収計画に関する申請を受領したと発表した。

<https://www.businesslive.co.za/bd/companies/retail-and-consumer/2025-08-04-shoprite-to-exit-malawi-after-25-years/>

(15)【ボツワナ】サンドビック社、大型鉱山設備受注

スウェーデン・サンドビック社は、中国系グローバル鉱山請負業者 JCHX Mining Management Co., Ltd.から、ボツワナの Khoemacau Copper Mine (KCM) 向け地下鉱山設備の大規模受注を獲得した。受注額は約4.5億スウェーデンクローナ(約70億円)となった。受注品目にはローダー、トラック、ドリルに加え、リモートモニタリングサービスを含むデジタル監視ソリューションへのアクセス権が含まれる。

<https://www.prnewswire.com/news-releases/sandvik-wins-major-mining-equipment-order-in-botswana-302534574.html>

■北部アフリカ

(16)【モロッコ】東風汽車、モロッコで新型車 5 モデルを投入しアフリカ展開を加速

中国東風汽車工業進出口有限公司はモロッコで新型乗用車5モデルを投入し、アフリカ成長戦略における一步を踏み出した。発表されたラインナップには「東風シャイン」「東風シャインマックス HEV」「東風マージュ」「東風ヒュージ」「東風ボックス」が含まれる。発表会では強い関心が集まり、20 台の確定販売と 200 件以上の予約注文が寄せられたという。

https://autonews.gasgoo.com/new_energy/70038754.html

(17)【アルジェリア】現代自動車、アルジェリアに組立工場を建設へ

現代自動車は中東・アフリカ市場での拡大を加速させるため、アルジェリアに自動車組立工場を建設する計画。現代自動車の現地法人「SARL Hyundai Motors Manufacturing Algeria」はオマーンのサワード・バフワン・グループと提携し、同国に4億米ドルの自動車組立工場を建設すると報じられている。同社は5月に車両の販売認可を取得済みだが、工場建設については政府の最終承認を待っている状態。

<https://www.just-auto.com/news/hyundai-to-build-assembly-plant-in-algeria/>

(18)【アルジェリア】穀物輸入依存度の高まりに懸念

米国農務省(USDA)の最新分析によると、アルジェリアの2025年予想生産量(小麦 300 万トン、大麦 135 万トンと推定)は依然として国内需要を満たせず、輸入依存は継続する見込み。2024/25 年度の輸入量は800万トンと予測され、主にロシアから調達される見込み。

<https://apanews.net/algeria-grain-sector-faces-growing-reliance-on-imports/>

(19)【エジプト】オレンジ・エジプトとサウジ・エンジャズが提携し、シームレスな送金を実現

オレンジ・エジプトは、サウジアラビアおよび中東地域における最大級のフィンテック企業の一つであるエンジャズ・ペイメント・サービスと独占的提携契約を締結した。エンジャズはサウジアラビア国内140以上の支店網を擁し、強力な現地拠点と革新的なデジタルサービスを融合させて事業を展開している。両者の強みを生かして安全かつ即時性の決済サービスを提供する。

<https://www.thefastmode.com/technology-solutions/44206-orange-egypt-partners-with-enjaz-for-seamless-saudi-to-egypt-money-transfers>

(20)【エジプト】冷凍イチゴが2025年上半期の食品輸出を牽引

食品輸出評議会(FEC)が木曜日に発表したところによると、2025年上半期のエジプト食品輸出において冷凍イチゴが首位を占め、輸出量は前年比75%増の4.4億米ドルに達した。輸出額別に見るとコーラ濃縮液の約3億米ドル、食用油 1.8億米ドル、砂糖の1.7億米ドルと続く。

<https://en.amwalalghad.com/frozen-strawberries-top-egypts-h1-2025-food-exports-fec/>

■その他

(21)【UAE 投資/その他】インベスト・アフリカと UAE 政府のアフリカ・ディベートを共同開催
アフリカ大陸全体の貿易・投資促進をリードするプラットフォーム「インベスト・アフリカ」(www.InvestAfrica.com)は、9月30日にドバイにて旗艦フォーラム「アフリカ・ディベート」を開催する。UAE 政府との共催となる本フォーラムは、「共有市場。共有の未来。」をテーマに、政府・金融・産業界から500名以上の幹部を招へいする。アフリカが工業化、デジタル化、グリーン移行に向けた世代交代を遂げる中、UAE とアフリカの経済協力深化に向けた会議の場を提供する。UAE はアフリカ最大の投資国として台頭(2019年から2023年にかけて1,100億米ドル以上を投資、うち720億米ドルは再生可能エネルギー分野)したことは、世界の資本流動におけるインパクトを与えてきた。

<https://www.africa-newsroom.com/press/invest-africa-and-the-government-of-the-united-arab-emirates-announce-partnership-for-the-africa-debate--uae?lang=en>